

1 2024年 管内の感染症発生状況(管内居住の患者数)

● 管内の全数把握感染症情報 ● <類別・疾患別集計表>

区 分	累計（2024年）	2024年11月分
1 類感染症	0	0
2 類感染症	6（結核）	1（結核）
3 類感染症	0	0
4 類感染症	9	1
5 類感染症 （※管内医療機関からの届出数）	1	0

疾 患 名 (インフルエンザ 及び小児科定点疾患)		2024年 累計	直近の届出数				
			46週	47週	48週	49週	50週
1	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	1028	27	51	26	37	66
2	COVID-19	2240	10	10	16	23	15
3	RSウイルス感染症	5	1	0	0	0	0
4	咽頭結膜熱	8	1	3	0	0	0
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	209	4	1	5	1	1
6	感染性胃腸炎	53	3	0	0	1	0
7	水痘	7	0	0	0	0	0
8	手足口病	36	0	1	0	0	0
9	伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0
10	突発性発しん	0	0	0	0	0	0
11	ヘルパンギーナ	6	0	0	0	0	0
12	流行性耳下腺炎	3	0	0	0	0	0

<参考>夷隅健康福祉センター管内の定点医療機関は、

インフルエンザ定点 : 5 医療機関

小児科定点 : 3 医療機関

の協力を得ています。

【トピックス】

○インフルエンザ注意報が発令されました。

2024年第49週における県内のインフルエンザ定点医療機関からの定点当たり報告数は、前週の8.14(人)から増加して13.23(人)となり、国が定める注意報基準値(10.0)を超えたことから、12月11日にインフルエンザ注意報を発令しました。詳しくは報道発表資料をご覧ください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2024/infulu-1211.html>

○管内での結核の届出がありました。

管内医療機関から、11月に結核の届出が1件ありました。

結核の症状には特徴的なものがなく、初期には目立たないことが多いため、特に高齢者では気づかないうちに進行してしまうことがあります。咳やたんが2週間以上続いたり、微熱や体のだるさ、食欲不振が続いたりする場合は、早期に医療機関を受診させるようお願いいたします。また、医療機関でもこれらの症状がみられる場合は結核を疑い、必要に応じて胸部レントゲン撮影や喀痰検査の実施をお願いいたします。

また、後日「結核定期健康診断報告」の依頼文を、担当から報告対象施設宛にメールまたは郵送にて送らせていただきますので、よろしくお願いいたします。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou03/index.html

○疥癬の集団発生について

今年11月に、高齢者施設内における疥癬の集団発生の報告が2件ありました。疥癬には「角化型疥癬」「通常疥癬」の2種類があり、特に角化型疥癬は非常に感染力が強いのが特徴です。

角化型疥癬の症状は「厚い垢の増殖」、通常疥癬の症状は「赤いぶつぶつ」「疥癬トンネル(線状の皮疹)」などが挙げられます。施設等でこれらの症状がみられる方がいたら、速やかに皮膚科を受診していただくようお願いいたします。別添のリーフレットも適宜ご参照ください。

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansenohanashi/380-itch-intro.html> (国立感染症研究所)

<https://www.mhlw.go.jp/content/000500646.pdf> (厚生労働省)

○千葉県内での麻しんの届出について

2024年第48週(11月25日～12月1日)に県内医療機関から本年初となる麻しんの届出がありました。麻しんは感染力が強く、空気感染もするため、手洗いやマスクのみでの予防は困難であり、予防接種が最も有効な予防法といわれています。

医療機関にて海外渡航予定のある方を診察する場合は、麻しんの予防接種歴を確認していただき、必要に応じて抗体検査や予防接種の検討をお願いいたします。詳しくは下記URLをご参照ください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/mashin.html>

○千葉県の発生状況については下記ホームページを参照してください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/>

(千葉県感染症情報センター)

感染症情報の受信先設定について

日頃、感染症対策の推進に御協力いただきありがとうございます。

【連絡】登録アドレスの廃止、変更等は連絡願います。

【利用にあたっての注意】

『夷隅感染症情報』の感染症の説明等は主に公的機関の情報を基に作られ、できるだけ最新で正確なものを発信するよう努めておりますが、御利用に際しては、利用機関の責任において御使用ください。また、メールの安全性についても県庁のネットワークシステムの一環として安全性の確保を図っておりますが、受信先におきましてもセキュリティー等の注意をお願いします。

※このアドレスは送信専用です。お問い合わせの際には下記まで御連絡ください。

<配信元>千葉県夷隅保健所 【お問い合わせ先】 isumiho3@mz.pref.chiba.lg.jp

△疥癬に注意しましょう！△

令和6年11月に、管内の高齢者福祉施設から疥癬の集団発生¹の報告が2件ありました。疥癬は、ダニの一種であるヒゼンダニによって引き起こされる疾患であり、「**通常疥癬**」「**角化型疥癬（ノルウェー疥癬）**」の2種類があります。「通常疥癬」は感染力は比較的弱いのですが、放っておくと角化型疥癬に悪化することがあります。**角化型疥癬は非常に感染力が強く、集団感染を引き起こす可能性があります。**

通常疥癬と角化型疥癬の違い

	通常疥癬	角化型疥癬
ヒゼンダニの数	数十匹以上	100万~200万
患者の免疫力（病気一般に対する抵抗力）	正常	低下している
感染力（他人へうつす力）	弱い	強い
主な症状	<ul style="list-style-type: none"> 赤いブツブツ（丘疹、結節） 疥癬トンネル（手のひらや手指間にみられる線状の皮疹） 	<ul style="list-style-type: none"> 厚いあか（垢）が増えたような状態（角質増殖） 
かゆみ	強い	不定
症状が出る部位	顔や頭を除いた全身	全身

表および画像は国立感染症研究所「疥癬とは」より引用、編集
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansenohanashi/380-itch-intro.html>

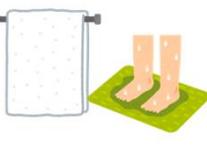
施設にこのような方はいませんか？

- ・数か月前から皮膚のかゆみを訴えている。特に夜間になるとかゆみが強くなる。
- ・かゆみなどの皮膚症状があり、皮膚科で薬を処方され使用しているが、**なかなか症状が改善しない（特にステロイドのお薬を使用している場合は、疥癬の悪化につながる可能性もあります。）**

→もしかしたら疥癬かもしれません。**すみやかに皮膚科を受診しましょう。**



疥癬と診断されたときの感染対策

通常疥癬の場合	角化型疥癬の場合
 標準予防策の継続	 使い捨てのガウンや手袋の着用
 バスマット・タオル等は共用しない	 1~2週間は個室隔離
 シーツ・衣類等の交換（入浴後・内服後等）	 シーツ・衣類等の交換（個室隔離中は毎日）
 洗濯物は容器に入れて持ち運ぶ（洗濯は通常の方法でよい）	 シーツ・衣類はポリ袋に入れて運ぶ
 施設のユニフォームは家に持ち帰らない	 殺虫剤の散布（個室隔離前後） 掃除機かけ（隔離中は毎日）
殺虫剤の散布や個室隔離は必要ありません。居室の清掃も通常の方法で構いません。	
	 洗濯前に50℃10分の熱湯消毒または殺虫剤散布